

2章 総合問題2

問題

【1】

解答

- (1) ④
- (2) 「全訳」の下線部㉔を参照。
- (3) 女性が教育を受けるようになり、外へ働きに出るようになった。(29字)
服が安く大量生産されるようになり、大型ディスカウント店が登場した。(33字)
- (4) この10年間で裁縫の人気の大いに復活したこと。
- (5) ① c ② b
- (6) a, d

解説

- (1) 補充する段落は、'逆接'を表すディスコースマーカの However から始まっていることが大きな手がかりになる。この後には、裁縫には単に必要な物を作ること以上の意味があるということと、有意義な趣味や、政治的・社会的な表現としても裁縫が使われていることが述べられている。④の前の段落までは、裁縫について、衣服や家庭用品などの必要なものを作るためのものとしてのみ述べられているが、④の後の段落では、エイズやアフガニスタンで起きている戦争との関わりが述べられており、これが「政治的・社会的な表現」の具体例になっているとわかる。したがって、この段落は④に入れるのが適当。

- (2)

The <u>cold winds and ocean water</u>

made
V
S

- | |
|---|
| having <u>thick woolen socks and sweaters</u> |
|---|

very desirable.
C
O

使役動詞 make を使った第5文型の文。having ~ sweaters までがO, very desirable がCで, make O C で「OをCにする」の意味になる。主部の The cold は winds と ocean water の両方を, 述部の thick woolen (厚手の毛糸の) は socks と sweaters を修飾している。having ~ は動名詞で, 「~を持っていること」の意味。直訳すると, 「冷たい風と海水が, 厚手の毛糸の靴下とセーターを持っていることを非常に望ましいことにした。」となるが, これでは不自然な日本語になってしまう。このような無生物主語の構文では, 主語を副詞的に訳すと自然な日本語になるだろう。

- (3) 下線部は1960年代, 70年代に起こった裁縫の衰退について述べているので, その原因となった変化をまとめることになる。この直後の文に, 女性解放運動に伴って, 女性は伝統的な家庭での活動から, 教育を受けたり, 働きに出たりするようになったと

いう変化が述べられている。これが第1の変化である。この後ろには女性の活動や職業の変化について具体的な説明が続いているが、要約する時には不要な部分である。第2の変化は、同じ段落の第8文で使われている also (ℓ. 30) というディスコースマーカーが手がかりになる。これに続く第9文に、手作りの服が大量生産の服に、小型の衣類専門店が大型ディスカウント店に淘汰されてしまったということが述べられている。以上の2つをまとめることになるが、「30字程度」という字数制限があるので、25～35字にまとめるようにしたい。

- (4) attribute A to B で「AをBに帰する；AをBのせいにする；AはBに起因すると考える」という意味なので、「女性が伝統的技能の遺産を再生しようとする」ことが原因となって、下線部の this という結果になっている。それをふまえて this の指すものを下線部より前から探すと、前文の over the past decade ~ a huge resurgence の内容が該当するとわかる。ここにも these activities という指示語句があるので、さらにこれも具体的に説明する必要があるが、これは文脈から縫い物、編み物、キルティングのことを指していることは明らかである。have enjoyed a huge resurgence (大いに復活した) の resurgence は難解な語だが、文脈からその意味は推測できる。なお、この enjoy は「～を享受する」という意味である。
- (5) ① them が受けているのは、下線部の直前にある複数形の名詞 things である。この部分は「things を自分で作るか、自分用に作ってもらうか」という意味なので、「服」を表している a か c が適切であり、「店」を表している b と d は不適。また、この文の後半の内容も手がかりになる。ここでは、「多彩な安い既製服の中から選ぶことができるのに」と続いていることから、文の前半で指す「服」は「高価な手作りの服」だということがわかる。したがって、正解は c である。
- ② 下線部を含む文の3つ前の文から、社会学者による裁縫の再生の理由付けが述べられている。これは Some … ⇒ Others … ⇒ Still others … (…もいれば、…もいる。さらには…もいる。) という展開を見抜いているかを問う設問になっている。したがって、この still は「まだその上に；さらに」と言う意味の副詞であり、これに最も近いのは b の yet である。still はこの意味では other, another, further, more などとともに用いられることが多い。
- (6) a 「編み物と服の仕立ては歴史的に典型的な女性の職業とみなされていた。」ℓ. 7 から始まる段落の最終文に、中世には女性は服飾を職業とすることが許されていなかったことが述べられているので、これは本文の内容に一致しない。
- b 「戦時中には女性だけでなく多くの男性も兵士に靴下、毛布、包帯を供給するために裁縫作業に従事した。」これはℓ. 12 から始まる段落の第5文の内容に一致する。
- c 「1960年代と70年代の女子は母親や祖母ほど編み物や縫い物をする時間がなかった。」ℓ. 21 から始まる段落の第7文の内容に一致する。
- d 「大量生産によって人々が安価な既製服を買うことができるようになると、縫い物や編み物はお金のかからない作業になった。」ℓ. 21 から始まる段落の第9文には、安価な大量生産の既製服や大型ディスカウント店が、手作りの衣服や家族経営の高価な衣料専門店に取って代わったとあるが、裁縫が「お金のかからない作業」に

なったわけではないので、これは本文の内容に一致しない。

- e 「9・11のテロ攻撃のような事件によって、人々はより長時間を家族と過ごすようになった。」ℓ. 21 から始まる段落第 13 文の内容に一致する。
- f 「この 10 年間で人々は伝統を取り戻し、家のもっと近くでくつろぎ、環境に負担をかけないための方法として編み物や縫い物を再発見し始めた。」ℓ. 21 から始まる段落第 12 文～最終文の内容に一致する。
- g 「エイズキルトとレボリュショナリー・ニッティング・サークルによる実演は裁縫を通じての政治的、社会的表現の実例である。」ℓ. 45 から始まる段落の内容に一致する。

したがって、正解は a と d である。

全訳

編み物、縫い物、キルティング…、このような作業の名前を挙げると、おばあさんが揺りいすに座って作業する物を膝の上に乗せて、靴下やセーターを作ったり、服に空いた穴に当て布を当てたり、キルトをつなぎ合わせたりといった作業に黙々と取り組んでいるイメージが浮かぶかもしれない。時にはこれがびったりのイメージかもしれないが、このような針仕事は常に年配女性専門の仕事であったわけではないし、今では確実にそうではない。老若男女がさまざまな理由でこのような裁縫を実践してきたし、今でも行っている。

中世の間にヨーロッパで、ギルド——特別な技能の訓練を受けた後で、それを生業とした男たちの組合——が発達した。鉄工職人や大工のギルドがあったが、裁縫職人——例えば編み物職人や仕立て職人——のギルドもあった。女性は家で編み物や縫い物をすることはできたが、ギルドに加入して本業としてこの仕事をするには許されていなかった。

男性が一般にこのような仕事に従事していたのは中世の間だけではなかった。ごく最近まで、多くの船員や漁師は編み物をするのが上手であった。海の上で過ごす時間が長く、海水が繊維を劣化させるので、自分の服を作ったり修繕したりする能力は役立った。⑧風や海水が冷たかったので、厚手の毛糸の靴下やセーターを持っていることが非常に望ましかった。世界大戦中には、負傷から回復中の数多くの兵士、障害を負った古参兵、ボーイスカウト団が、地域の女性たちとともに、軍隊のために包帯を縫い、靴下や毛布を編んだ。今日でも、ヨーロッパの一部の国では、男子も女子も学校で必修教育課程の一環として編み物と縫い物を学ぶのが普通になっている。

編み物、縫い物、キルティングは 20 世紀前半を通してずっと広く行われていたが、1960 年代、70 年代にはこのような作業が衰退した。女性解放運動が起こるにつれて、かつては女性の伝統的な家庭での作業が重視されていたのが、教育を受けることや家庭の外で仕事に就くことが重視されるように変わった。若い女性は、宇宙飛行士や弁護士、医師やジャーナリストを目指すように勧められた。伝統的な、養育と家事を中心とした職業——保育・教育・縫い物・掃除——は、もはやそれだけしかない選択肢ではなくなった。学校の家政コースは人気がなくなった。女子はより多くの時間を、団体競技をしたり、先端科学の授業を取ったりするのに費やした。昔の世代の人々が編み物用の針と糸、縫い物用の布地と糸を使って過ごしていた時間は他のものに使われる時間になった。このような裁縫の技術を身に付けることの実用的な理由もより少なくなった。安価な大量生産の服や大型ディスカウント

ショップチェーンが、手作りの服や小型で家族経営の高価な衣料専門店に取って代わった。安価な既製服の中から幅広い選択ができるのに、どうして自分で作ったり、自分用に作ってもらったりするのに時間やお金をかけるだろうか。長年これが一般的な理屈であったが、過去10年間でこのような作業は大復活を遂げている。これは女性が伝統技能の遺産を再生しようとしているためだと考えている社会学者もいる。9・11事件を指摘する社会学者もいて、この悲劇的事件のせいで人々は以前より家の近くにいるようになり、家庭に適した「気持ち安らぐような」趣味に没頭するようになったと主張している。そして、多くの人々がこのような趣味は大きなストレス発散になっていると感じている。さらには、「環境保護」運動の高まりによるものだとする社会学者もいる——手作りの服や家庭用品は地球にやさしいからである。毛糸を作ってくれる動物を思いやりを持って飼育して、その繊維を紡いで糸にして、その糸を天然の植物染料を使って染めて、それを使って編み物をするというのは今では非常に人気がある。布地や糸のために有機栽培をした綿や麻を使うことも次第に広まっている。

だが、時にはこのような作業が単に必要な服や家庭用品を作ること以上の意味を持つことがある。一部の人々にとっては、裁縫は有意義な趣味であるか、一種の政治的、社会的表現である。

繊維を使う芸術家の中には、自分の作品で主張をしようとする者がいる。エイズキルトは非常に有名な例である。1987年以來、エイズで亡くなった人々を追悼する布が世界中を回るキルトに縫いつけられている。現在では54トンのキルトに91,000人以上の名前が載っている。2002年のカナダでのG8サミットの期間中、レボリュショナリー・ニッティング・サークルは「ニットイン」を実演して、そこで編み物をしながら、資本主義とグローバリゼーションの政策に抗議した。世界中の何千人もの人々が、今でも現地で行われている戦争で被害を受けたアフガニスタンの人々に手編みの毛布を贈っている「アフガニスタン人のためのアフガン布」のようなボランティアの裁縫プロジェクトに協力している。

今日の裁縫愛好家は、その性格や動機は大きく異なるかもしれないが、共通点——創造と繊維素材を愛すること——を持っていて、美しい手作りの品物のコレクションを共有している。

注

- ℓ. 1 ◇ quilting *n.* 「キルティング；キルト縫い」
 ◇ mention of ~ 「~についての言及」 *cf.* mention ~ *vt.* 「~に言及する」
 ◇ invoke ~ *vt.* 「~を思い起こさせる」
- ℓ. 2 ◇ grandmothers sitting の sitting は動名詞で grandmothers は意味上の主語になっている。quietly working は‘付帯状況’の分詞構文になっていて、work on ~ 「~に取り組む」という動詞句の目的語として、making ~ a sweater, patching ~ in some clothing, piecing a quilt という3つの動名詞句が or でつながれている。なお、この3つは文頭にある knitting, sewing, quilting にそれぞれ対応している。
- ◇ project *n.* 「課題」
 ◇ lap *n.* 「膝」
- ℓ. 3 ◇ patch ~ *vt.* 「~につぎを当てる」
 ◇ piece ~ *vt.* 「~をつなぎ合わせる」

- ℓ. 4 ◇ needlework *n.* 「針仕事」 ℓ. 31 needlecraft も同義。
- ℓ. 5 ◇ exclusively *adv.* 「もっぱら；独占的に」
 ◇ domain *n.* 「領域；分野」
 ◇ fiber art 「裁縫（業）」これは needlework の言い換えになっている。
- ℓ. 8 ◇ craft *n.* 「技能」
 ◇ practice ～ *vt.* 「～に（職業的に）従事する」ℓ. 6 の practice は広く「～を行う」の意味ととるのが自然。
 ◇ livelihood *n.* 「生計を立てる手段；生業」
- ℓ. 12 ◇ pursue ～ *vt.* 「～に従事する」
- ℓ. 14 ◇ deteriorating effect 「劣化作用」*cf.* deteriorate *vi.* （悪化する）
 ◇ saltwater *n.* 「海水」
- ℓ. 17 ◇ disabled *adj.* 「障害を負った」
 ◇ veteran *n.* 「退役軍人；古参兵」
- ℓ. 18 ◇ along with ～ 「～と一緒に」
- ℓ. 20 ◇ required curriculum 「必修教育課程」
- ℓ. 26 ◇ nurturing *adj.* 「養育する」*cf.* nurture ～ *vt.* （～を育てる〔養育する〕）
- ℓ. 28 ◇ advanced science 「先端科学」
- ℓ. 29 ◇ yarn *n.* 「編み物用の糸」
 ◇ fabric *n.* 「布地」
 ◇ thread *n.* 「縫い物用の糸」
- ℓ. 33 ◇ Why (do you) invest the time and money to … ? 「どうして…するのに時間とお金をかけるだろうか。」これは修辭疑問文（反語）で、「…するのに時間とお金をかける必要はない。」という意味。
- ℓ. 34 ◇ a wide array of ～ 「幅広い～」
 ◇ ready-to-wear *adj.* 「既製服〔品〕の」
- ℓ. 35 ◇ prevailing *adj.* 「一般的な」
- ℓ. 37 ◇ point to ～ 「～を指摘する」
- ℓ. 38 ◇ family-friendly *adj.* 「家庭に適した」
 ◇ nest *vi.* 「（巣につくように）落ち着く」本文では nesting で「気持ちが落ち着くような；居心地のよい」の意味で形容詞的に使われている。
- ℓ. 40 ◇ credit ～ *vt.* 「～のせいにする」
 ◇ green movement 「環境保護運動」
 ◇ household goods 「家庭用品」
- ℓ. 41 ◇ humanely *adv.* 「人道的に；思いやりを持って」
 ◇ spin fiber into yarn 「繊維を紡いで糸にする」
- ℓ. 42 ◇ dye ～ *vt.* 「～を染める」*n.* 「染料」
- ℓ. 43 ◇ organic *adj.* 「有機栽培の」
 ◇ hemp *n.* 「麻」
- ℓ. 45 ◇ make a statement 「主張をする」

- ℓ. 46 ◇ commemorate ~ *vt.* 「～を追悼する；～を記念する」
 ℓ. 47 ◇ stitch ~ *vt.* 「～を縫いつける」
 ℓ. 49 ◇ stage ~ *vt.* 「～（＝ストライキ・抗議集会など）を行う〔企画する〕」
 ℓ. 52 ◇ donate ~ *vt.* 「～を寄贈する」
 ◇ ongoing *adj.* 「継続中の」

【2】

ポイント

標準レベルの長文総合問題である。要約した英文の空所補充問題があり、全体としては、文脈を正確に把握できる基礎的な読解力が必要とされる。

解答

- (1) ① b ② d ③ e ④ b ⑤ g ⑥ c
 (2) 「全訳」の下線部①を参照。
 (3) 偶然の出会いを期待し、操作し、自分自身で起こそうとする態度。
 (4) 大銀行の頭取が、スペインの海岸で15年分相当の取引をすることになる人と出会ったこと。

別解 画廊のオーナーが才能ある若手画家と飛行機で隣り合わせの席となり、その画家の個展で自己最大の成功を収めたこと。

- (5) The most important thing is not what the two of you said, but how you felt after your meeting.

別解 What is most important is not what each of you say, but how you feel later.

- (6) ① h ② e ③ i ④ d ⑤ j ⑥ a ⑦ k ⑧ k ⑨ l ⑩ c ⑪ m ⑫ i ⑬ n ⑭ g

解説

- (1) ①下線部の with their heads (being) in the clouds で‘付帯状況’を表している。後に deep in thought and ~ around them (物思いにふけり、周りの人に会う可能性があることにまったく気づかず) と続くことから、「ぼんやりした様子で」の意の d が適当だとわかる。in the clouds は「ぼんやりして」という意味のイディオムで、with [have] one's head in the clouds (空想にふける；夢のようなことばかり考えている) の句の形で用いるのが通例。このイディオムを知らなくても文脈から判断できるだろう。その他の選択肢の意味はそれぞれ a 「ものすごい速さで」、b 「そんな悪天候で」、c 「とてもたくさんの人々と一緒に」。いずれも不適当。
 ②この beyond は‘範囲・限界’を表し、「～を超えて；～以上に」の意の前置詞。続く work opportunity or personal gain (事業の機会や個人的な利益) については、第7段落第6文で Forget about pursuing your dream or … or doing deals. と述べられていることがヒントになる。よって、b 「自分自身の利益や事業のためだけではなく」が適当だと判断できる。a 「自分の仕事にうんざりしているから」、c 「純粋に自分の事業への興味から」、d 「自分の個人的経費は関係なく」はいずれも文脈に合わない。

に該当する。空所を含む文の ~ cross one's path は「~に出会う」, make the most of ~ で「~を最大限に利用する」の意。この文脈に合うのは recognize ~ (~を認識する) なので、これが正解。b aware も意味的には当てはまりそうだが、aware は be 動詞に続き be aware of ~ (~に気づく; ~を認識する) の形で用いられるので、この空所では不適。

全訳

偶然人に出会うことはいつでも起こることである。私たちはスーパーマーケットや遊び場や駅で誰かと偶然出会い、話をする。たいていの場合は心地よく出会って立ち去り、出会ったことはすべて忘れてしまう。しかし、自分の目的を達成するということになる、偶然の出会いが価値のある機会になることもあるのだ。

偶然の出会いが最良の出会いになった人々はたくさんいる。大銀行の頭取は、スペインの海岸で15年分相当の取引をすることになる人と出会った。画廊のオーナーは、飛行機で才能豊かな若い画家の隣の席に座り、後に展覧会で自己最大の成功を収めた。

自分自身の生活や、自分にとって最も大切な人たちについて考えてみてほしい。どこで、いつ彼らに会ったのだろうか。たぶん彼らのうちの多くはあなたの生活に偶然入り込んできたのだろうか。ほとんど期待していない時に限って、最高のことが起こるといことがしばしばあるだろう。

偶然の出会いを利用して賢く使う方法を知っていれば、それは非常に価値のあるものになり得る。①しかし、実を結んだ偶然の出会いが1つあるごとに、20の実を結ばなかった出会いがある。親しげに好意的な微笑を向けられても、内気だとか上がり性だとかで会話を始めることができない人もいようだろう。見知らぬ人に話しかけるとい思いが恐怖になり得てしまい、それはたくさんの人が避けて通りたいと思うような、社交上の不安の主な原因である。

中には、恐怖のせいで踏み出せないのではない人たちもいる。彼らはぼんやりして物思いにふけり、周りの人に出会う可能性があることにまったく気づかず歩いているだけである。私たちは誰でも、よく知っている人に気づかず通り過ぎる時があるが、それは単にまったく注意していなかったからである。偶然の出会いに注意し、それらをうまく扱うことは、あなたがたがそうしようと思えばできることである。偶然の出会いは貴重な機会を与えてくれるのに、あまりにも多くの人がそれから逃げたり、無視したり、ただ気づかなかったりしている。

偶然の出会いへの鍵は、それに対するあなたがたの態度である。まず、偶然の出会いが起こるように仕向けてはいけぬ。それらは自然に起こるのに任せておく。だから、なりゆきを支配しようとするのは忘れて、すべてにおいてリラックスして始めなさい。偶然の出会いに期待したり、うまくやろうとしたりするのをやめれば、それは偶然やって来るだろう。

偶然の機会がやって来たら、熱心になりすぎてそれを台無しにはしてはいけぬ。リラックスして学ぼうとしなさい。もしその出会いから何かを得ようとする、攻撃的に見え、この上なく人をいらいらさせてしまう。思いやりを持ち、熱心に、そして誠実になりなさい。他人に興味を持ちなさい。自分の夢や目標、物を売ったり取引をしたりする場を求めることは忘れなさい。一番重要なことは、あなたがた2人が何を言ったかではなく、会った後でどの

ように感じたかなのである。人々は楽しかった出会いを覚えているのである。

偶然に出会った人を見知らぬ人と思っはいけない。というのも、あなたがたは同じ状況にいて、すでに共通のものを持っているのだから。それは素晴らしい出発地点である。適切な関係を十分築き上げたら、後日その偶然の出会いに対してさらに行動を起こすことができるだろう。偶然の出会いを歓迎し、それから学習すれば、びっくりするようなことが起こり始めるだろう。

偶然の出会いにおいては、その状況において許される時間の中で、その人のことを可能な限りよく知りたいたいと思わせるような、ある程度の関わり合いを持とうとすべきである。あなたがたの態度は、次のようにあるべきだ。「私はあなたが興味のあること、私たちに共通していることを知りたいのです。私は、仕事の機会や個人的利益を越えたところで興味を持っています。何が正しくて何が間違っているかを判断したり探したりして、気持ちをあいまいにしないように全力を尽くしています。自分が話すより、あなたの話を聞くことを優先しています。」他の人に積極的に関心を持つことは、いつでも簡単に湧いてくるとは限らない寛大な精神や活力が必要とされる。それらは、疲れている時や気にかけていることがたくさんある時には特に簡単には湧いてこないものである。しかし、努力する価値があるのは、最もありそうにない時に、あなたの冒険的事業の成功の鍵を握る人物に会えるかもしれないからである。

偶然の出会いは私たちの周りにある。未知の興味深い人々と素晴らしい可能性は、私たちがそれらを見つけてつかみたいと望んでいれば、いつでも山積みで私たちの前に置かれている。傍観するだけの、そして「面白そうな人になんて全然会いそうにない」と言う人になってはならない。もしそれがあなたなら、今より少しだけ努力をする時だ。機会はそこにある。まだそれにチャンネルを合わせていないだけだ。あなたがたが成功させたいことや、達成したいこと、世界の人々に知らせたいことがたとえ何であっても、偶然の出会いはあなたがたをそこへ到達させるのに役立つ貴重な道具となり得る。

注

ℓ. 1 ◇ bump into ~ 「~ (=人) と偶然会う」

ℓ. 4 ◇ when it comes to ~ 「~ということ〔話〕になると」

ℓ. 9 ◇ ~ mean most to you 「あなたにとって最も大切な~」 mean + ~ + to 人で「人にとって~ (=程度) の重要性を持つ」の意味。

cf. This job *means a lot to me*. (この仕事は私にとってとても大事です。)

ℓ. 10 ◇ it is likely that ... 「...しそうである；たぶん...するだろう」

◇ a good number of ~ 「多くの~」

ℓ. 12 ◇ take advantage of ~ 「~を利用する」

◇ of enormous value 「非常に価値のある」 of + 抽象名詞 = 形容詞。

of enormous value = enormously valuable

ℓ. 16 ◇ would rather ... 「...する方がよい」

ℓ. 21 ◇ look out for ~ 「~を注意して探す」

ℓ. 34 ◇ after all 「そうは言っても；何と言っても；だって~だから」前文に対する補足説明をする用法。

Ex. She can't understand. *After all*, she's only two.

(彼女には理解できないのです。何と言ってもまだ2歳ですから。)

ℓ. 50 ◇ dish up ~ 「~ (=料理) を盛り付けて出す」

◇ spot ~ *vt.* 「~を見つける [発見する]」

ℓ. 52 ◇ tune in to ~ 「~にチャンネルを合わせる」

【3】

解答

(1) **d** (2) **c** (3) **a** (4) **c**

(5) **b** (6) **b** (7) **c** (8) **d**

Script

W : May I help you?

M : Yes. I'd like to know how much a round trip ticket from Tokyo to New York will be this summer.

W : When do you want to leave Tokyo?

5 M : It will be in mid-August.

W : And when will you be returning?

M : At the end of the month.

W : And what class would you like to travel?

10 M : Economy. I'd like to know what the cheapest flight is. Of course, the schedule is a factor too. I don't want to take a really long flight.

W : I see. However, I unfortunately can't give you the exact fares today. The rates for August won't be available until April 15.

M : Could you give me a rough idea?

15 W : I could tell you what last year's rates were, but I can't guarantee that they will be the same. However, the differences among the various flights will be similar.

M : OK, that would be great.

W : The prices start to go up in the middle of July and peak in the middle of August. If you leave during July, even the last day, it would probably be at least a little cheaper.

M : I won't be able to do that. Just tell me the prices for the various airlines from

20 August 15. What is the best price for a direct flight?

W : United had a flight to JFK for 190,000 yen and Northwest had one for 179,000 yen.
But the Northwest flight only leaves at 8:00 am or 10:00 pm.

M : Do you think there is much chance that the prices will be cheaper this year?

W : I'm not sure, but I doubt that there will be a big difference.

25 M : What else is there?

W : You can take Delta Airlines, which has a three hour stopover in Los Angeles. That
was 138,000 last year. Or you can take a United flight that stops in Chicago for
about an hour. That was 140,000.

M : The United flight via Chicago sounds interesting. What is the total time from Tokyo
30 to New York?

W : Fourteen hours.

M : That's not so bad. Only about two hours more than a direct flight and a lot cheaper
than either of the direct flights. What time does it leave Tokyo?

W : Every day at noon.

35 M : That sounds good. Can you book me for that flight for August 15?

W : You'll have to come back in when the rates are finalized. I can book you then. As I
said, I can only give you estimates for now.

M : Fine. Could you give me a call when the rates are confirmed? If I'm not home you
can leave a message on my answer phone or even send me an e-mail message.

40 W : Certainly. Could you fill in this paper with your name, address, and telephone
number?

M : Sure.

W：いらっしゃいませ。

M：どうも。この夏、東京発ニューヨーク行きの往復チケットがいくらになるか、知りたいんですけど。

W：いつ頃の東京出発をご希望ですか？

M：8月の半ばになります。

W：帰国されるのはいつですか？

M：8月末です。

W：渡航されるご希望の客席クラスは？

M：エコノミーです。一番安い便がどれかを知りたいんです。もちろん、スケジュールも考える要素の1つですけど。あまりに長いフライトはいやですから。

W：わかりました。ですが、残念ながら本日は正確な料金をお伝えできません。8月の料金は4月15日までわかりません。

M：おおよその見当は教えてもらえますか？

W：昨年の料金がどうだったかはお伝えできますが、同じになるかどうかは保証できません。ただし、いろいろな便による差はほぼ同様になるでしょう。

M：それで結構ですよ。

W：価格は7月半ばから上がり始めて8月半ばがピークになります。7月中に出発すれば、たとえ最後の日でも、少なくとも多少は安くなるでしょう。

M：それは無理そうですね。8月15日以降の各航空会社の価格だけ教えてください。直行便で一番安いのは何ですか。

W：ユナイテッドのJFK行きの便は19万円でした。ノースウエストには17万9000円のがありましたが、ノースウエストの便は午前8時発か午後10時発だけです。

M：今年は価格が安くなる可能性は結構あると思いますか。

W：はっきりしませんが、大きな違いはないと思います。

M：他には何がありますか。

W：デルタ航空にも乗れます。ロサンゼルスで3時間のストップオーバーがあります。これは去年、13万8000円でした。あるいはシカゴにおよそ1時間止まるユナイテッドの便になさってもいいのでは。こちらは14万円でした。

M：シカゴ経由のユナイテッド便がよさそうですね。東京・ニューヨーク間の総飛行時間はどれくらいですか。

W：14時間です。

M：そんなに悪くはないですね。直行便より2時間長いだけで直行便のどちらよりもずっと安い。東京の出発はいつですか。

W：毎日正午に出発します。

M：それはいい。8月15日の便を予約していただけますか。

W：料金が最終的に決まってからまたいらしていただかなければなりません。その時に御予約をお受けします。申し上げましたように、今のところは、おおよその額しかお伝えできません。

M: わかりました。料金が確定されたらお電話をいただけますか。家にいなければ留守電にメッセージを残すかEメールを送っていただいても結構です。

W: 承知いたしました。お名前, ご住所, お電話番号をこちらの用紙にご記入いただけますか。

M: はい。

注.....

- ℓ. 1 ◇ May I help you? 「ご用件を承りますが。; いらっしゃいませ。」
○ Can I help you? も同じように使われる。
- ℓ. 2 ◇ round trip ticket 「往復切符; 往復旅券」
- ℓ. 5 ◇ mid-August 「8月中旬」
○ mid- = the middle of ~ 「～半ばの〔中旬の〕」
e.g. mid-century modernism 「20世紀中頃のモダニズム」
- ℓ. 10 ◇ factor = fact, circumstance, etc. that helps to produce a result 「要因; 要素; 因子」
Ex. The political trend in California, which has the largest number of presidential electoral votes, is a significant *factor* in overall US politics. (大統領選の投票最多数を抱えるカリフォルニア州の政治動向は、米国政治全体を大きく左右する要因である。)
- ◇ take a flight 「飛行する」
- ℓ. 11 ◇ fare = money charged for a journey by bus, ship, taxi, etc. 「乗車料金; 運賃; 交通費」
◇ rate = measure of value, charge or cost 「料金; 相場; 市場価格」
○ここではℓ. 11 の fare の言い換え。
- ℓ. 12 ◇ available = ① (of things) that can be used or obtained 「入手可能な」
② (of people) free to be seen, talked to, etc. 「手が空いている, 応じられる」
Ex. Are you available? (空いてる?)
He's not available today. ((電話などで) 彼は今日はいません。)
※このように、ものだけでなく人にも使えることを覚えておこう。
- ℓ. 17 ◇ go up ⇐ climb, grow, increase, move up, pick up, rise
◇ peak = reach the highest point or value 「頂点に達する」
⇐ climax, crest, culminate, top out
- ℓ. 23 ◇ there is much chance that ... cf. there is a chance that ... 「…する可能性がある」
○ a の代わりに little や no がくれば「可能性がほとんどない; まったくない」。a good chance, a reasonable chance というように、a の後に形容詞が入ることもある。また that 節ではなく、to 不定詞や for が導く前置詞句を伴う場合もある。
- ℓ. 29 ◇ via ~ = by way of 「～経由で」
- ℓ. 33 ◇ either = both 「どちらの～も; 両方の」
Ex. There was a chair at *either* end of the long table.
(長いテーブルの両端にイスがあった。)
- ℓ. 35 ◇ book ~ = reserve ~ 「～を予約する」
Ex. The flight is fully *booked*. (その便の予約はいっぱいです。)

book a room for someone at a hotel ((人) のためにホテルを1部屋予約する)

ℓ. 36 ◇ finalize = put something into final form; complete「決める；完成させる；仕上げる；まとめる」

e.g. finalize a deal (交渉をまとめる), finalize details (詳細を詰める)

ℓ. 40 ◇ fill in 「(空所に) 書き込む；(必要事項を) 記入する」

【4】

A.

解答

- (1) Who will be elected president is a matter of (deep concern to the nation.)
- (2) It is no business of yours what tie I (wear.)
- (3) That she married twice in her twenties is true(.)

解説

- (1) Who will be elected president が主語となる名詞節で「誰が大統領に選ばれるかということ」という意味。
- (2) It's no business of yours. = It's none of your business.
「君の関わる問題ではない」→「口出しするな」という意味の決まり文句で Mind your own business. とも言う。what tie I wear が実質主語となる名詞節で「私がどんなネクタイをするかということ」という意味。
- (3) That she married twice in her twenties が主語となる名詞節。

B.

解答

- (1) so (2) they (3) nobody

解説

- (1) 「当時私の両親に無意味だと思われたのは、私が医師としてアフリカに行きたがっていることでした。」
what 節が主語となり was が動詞。それを受けて、that 節が補語となると予想すればよい。
- (2) 「日本国憲法が永遠に戦争と武力保持を放棄している事実は日本の国民性に重要な影響を与えうると思いますか。」
think の目的語となる that 節の中を検討する。the fact that S Vが主語となり、can have が動詞、an important influence が目的語と考える。
- (3) 「結婚式の披露宴の招待客になることは大変易しいことに違いない。そこでは、両家の親族いずれもが、まったく見ず知らずの人たちをすべて相手の親族だと当然のように思っているからである。」
It は形式主語で、to be ～が実質主語であるため前半は問題ない。where 以下を考えると、take it for granted that S Vの形式が見えてくる。granted that S Vで「SがVだとしても」という構文もあるが、これを当てはめると it や nobody の内容が不明となる。

【5】

A.

解答・解説

- (1) What, you get
「なぜ君は彼に腹を立てたんだい？」
- (2) by [from], that
「我々は、経験から、極端な専門化は誤りであることを知っている。」
- (3) enabled, to
「長年の経験のおかげで、彼はその仕事を成し遂げることができた。」
○ enable ○ to … 「(事が) ○に…することを可能にさせる」

B.

解答

- (1) Three hours' bus ride from the station takes us to her native village.
- (2) The next evening found the party at the foot of the mountain.
- (3) He acknowledged his admiration for beautiful women.

【6】

解答

- (1) (Working part-time at a supermarket, I found) that some customers were polite, whereas others weren't.(.)
- (2) (John said he liked Sara very much, but) that marriage was the last thing on his (mind.)
- (3) (Unfortunately,) with no less than ten people sick in (bed, we'll have to cancel the meeting this evening.)
- (4) (No) matter what happens I'll stand by you (, so don't be afraid.) [together が不要]
- (5) (The problem of unemployment is) the most serious of those with which (the Government has to deal.) [that が不要]
- (6) (The devotion of) too much time to sports leaves too little (time for studying.) [remains が不要]

解説

- (1) some ~ , others … 「～な人もいれば…な人もいる」
○ whereas 「…だが一方」(≒ while)
- (2) but that ~と続けて said の目的語となる節を作る。
○ the last … 「可能性が最も少ない…」
Ex. He would be *the last* man to betray you.
(彼はあなたを決して裏切るような人ではない。)
- (3) '付帯状況'を表す with。
○ no less than ~ 「～も」

◇ than を用いた比較構文に否定語の no ; not が関連する場合

① no more than ~ 「～しか」 = only

Ex. There is *no more than* a year left. (たったの1年しか残っていない。)

no more の no は 副詞相当語句で「ゼロ分だけ」の意味。したがって no more は「ゼロ分だけ多い」となり、残りは1年であるが、more というプラス概念を示す言葉があるのに、増えていないことから、否定的な価値判断を示す。よって、「～しか」の意になる。

② no less than ~ 「～もの」 = as many [much] as

Ex. There is *no less than* a year left. (1年も残っている。)

no less は、①と同様に考え、「ゼロ分だけ少ない」となり、残りは1年。less というマイナス概念を示す言葉があるのに、減っていないことから、肯定的な価値判断を示す。よって、「～も」の意になる。

③ not more than ~ 「多くても～」 = at most

Ex. There is *not more than* a year left. (多くても1年しか残っていない。)

more than a year > a year である。not は補集合を表すので、not more than a year \leq a year となる。よって「多くても1年」の意になる。

④ not less than ~ 「少なくとも～」 = at least

Ex. There is *not less than* a year left. (少なくとも1年は残っている。)

③と同様に考えれば、not less than a year \geq a year となる。よって「少なくとも1年」の意になる。

(4) 譲歩の副詞節。

○ no matter what = whatever

○ stand by ~ 「～を支持する」 [= support]

(5) the most serious (problem) と補って考える。

○ of ~ 「～の中で」比較の直接の対象(通例複数名詞)がくる。

cf. in (比較の対象を含むより大きな枠を表す名詞がくる。)

○ those = the problems

that [those] は前出の「the + 名詞」を受ける。

○ with which : 前置詞 + 関係代名詞 (with は deal with に属する。)

= problems the Government has to deal with

○ deal with ~ 「～を処理する」

(6) ○ devotion of A to B 「BにAを捧げること、Bに対するAの献身」

cf. devote O to ~ 「Oを～に捧げる、向ける」

○ too much time 「あまりにも多すぎる時間」

leave はこの場合「～をあとに残す」という意味。 cf. remain vi.

○ too little time 「あまりにも少なすぎる時間」

【7】

解答・解説

◆は『解体英熟語 改訂第2版』の参照番号を示す。

- (1) (A) break (B) out ◆327
○ break out 「急に発生する」 out は副詞。
- (2) (A) come (B) about ◆328
○ come about 「起こる」 about は副詞。
- (3) (A) give (B) out ◆330
○ give out 「尽きる」 out は副詞。
- (4) (A) show (B) up ◆338
○ show up 「現れる」 up は副詞。
- (5) (A) get (B) along ◆339
○ get along 「人と仲良くやっていく」 along は副詞。
- (6) (A) Go (B) ahead ◆341
○ Go ahead. 「どうぞそうしてください。」 ahead は副詞。
- (7) (A) look (B) out ◆342
○ look out for ~ = watch out for ~ 「~に気をつける」 out は副詞。
- (8) (A) sets (B) in ◆344
○ set in 「(悪天候・冬などが) 始まる」 in は副詞。
- (9) (A) came (B) to ◆348
○ come to 「意識を取り戻す」
to *adv.* 「正常な状態へ」
- (10) (A) named (B) after ◆353
○ name A after B 「BにちなんでAに名前をつける」
- (11) (A) take (B) into ◆359
○ take into account ~ = take ~ into account 「~を考慮する」
- (12) (A) put (B) into [in] ◆360
○ put ~ into [in] practice 「~を実行する」
- (13) (A) reminded (B) of ◆362
○ remind A of B 「AにBを思い出させる」
- (14) (A) convinced (B) of ◆364
○ convince A of B 「AにBを確信させる」
- (15) (A) asked (B) of ◆367
○ ask a favor of ~ 「~に頼み事をする」
- (16) (A) accused (B) of ◆368
○ accuse A of B 「AをBの理由で訴える [非難する]」
- (17) (A) deprived (B) of ◆370
○ deprive A of B 「AからBを奪う」

- (18) (A) get (B) of ◆ 374
○ get rid of ~ 「～を取り除く」
- (19) (A) prefer (B) to ◆ 382
○ prefer A to B 「BよりもAを好む」
- (20) (A) owe (B) to ◆ 379
○ owe A to B 「AにBのおかげをこうむっている」
it = that 以下。